



# 公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第112号 2019年9月18日 発行

## 加賀&金沢&能登 小学生の作業療法士体験会を3地域で開催!!

モデル事業担当理事 合歓垣 紗耶香 (芳珠記念病院)

『作業療法士の働き方を伝える』教育支援プラットフォーム事業の1つである小学生の作業療法士体験会を、7月27日(土)に加賀、28日(日)に金沢、8月4日(日)に能登で開催した。

加賀では、小学生は作業療法士役になり、片麻痺役の保護者は三角巾で利き手を固定し一緒にカレーを作った。米研ぎや食材を切る等の工程で困った際、どのようにすればできるかを考え、道具や方法の工夫について作業療法士から助言を受け、試行錯誤しながらカレーを完成させた。金沢・能登では、キッズニアをイメージし、小学生にユニフォームを着用してもらい作業療法士体験を行った。金沢では、整形外科疾患領域(人工股関節置換術患者の床からの立ち上がり動作における脱臼予防指導)・脳血管疾患領域(片麻痺患者の更衣動作指導)・発達障害領域(鉛筆把持ができな

い子供に対する自助具作成)を、能登では、脳血管疾患領域(片麻痺患者の食事支援、更衣動作指導)・老年期領域(認知症患者に対する服薬支援)における作業療法士の働き方を体験した。

参加者から、「難しかった」との声もあったが、「カッコよかった」などの意見もあり、小学生は作業療法士の仕事の一端を学び、魅力を感じてくれたようである。また、「将来作業療法士になりたい!」という声も聞かれ、本事業に参加した小学生が、10年後に作業療法士となり活躍してくれることが楽しみである。最後に、参加者が楽しく学べるよう資料やシナリオ作成等、細やかに準備をすすめ、当日の運営に携わってくれた皆様に感謝申し上げたい。



## 第28回石川県作業療法学会を終えて

学会長 村井 千賀(石川県立高松病院)

第28回石川県作業療法学会は令和元年6月22日～23日に、多数の会員の参加並びに運営協力の下、盛大に開催できたことに感謝申し上げる。一日目のナイトセミナーは石川県勤労者プラザで、二日目の本学会は金沢大学十全講堂と医学部記念館で開催し、今回の学会では3つの初の取り組みを企画した。

まず、一つ目の初はナイトセミナー「語ろう!! 臨床の実践をまとめるということ」の開催で、参加者が日ごろの臨床の疑問や悩みを語り、明日の臨床のヒントや研究のきっかけが得られることを目的にグループ討議を行った。45名の参加者からは、急性期、回復期、介護保険、小児、精神の各分野での作業療法の方法、それを提供するための各病院現場の工夫や悩みなど、積極的な意見交換が行われた。感想として「急性期やICUでの作業療法について興味がわいた」「エビデンスの重要性が理解できた」「日ごろの悩みについて、他施設の方からアドバイスを得られた」など、すべての参加者が良かったとの回答を得た。

二つ目の初は、指定演題を設け、各分野での最新の医療と作業療法の内容について具体的にエビデンスを含め、各座長が一年前から演者と共に準備を進

めてもらった。発表内容はとても教育的で参加者からはわかりやすく、よかったとの意見が聞かれ、積極的な質疑応答があった。座長と演者の皆様、準備を含め有意義な発表に感謝申し上げます。

三つ目の初は、44の演題登録があり、初の三会場開催となった。演題も身障、精神といった分野別ではなく、ADL、IADLといったアプローチ別としたこともさまざまな分野での報告が聞け、勉強になったとの感想が聞かれた。運営等学会準備委員の皆様ありがとうございました。

最後に地域包括ケア時代、作業療法士一人ひとりの良き実践が「作業をすることで健康になれる」地域社会を実現できるものとする。その尊き実践をまとめ、報告、振り返る場がこの石川県作業療法学会の機会であるとする。本学会が会員皆様の今後積極的に臨床をまとめ、発表する機運が高まるきっかけとなれば幸いである。



## 第28回石川県作業療法学会 学会長奨励賞受賞者の言葉



左から 安本大樹氏、坂本佳奈氏、村井千賀学会長

- 「自傷行為が顕著な児に感覚統合療法的視点での介入を行い自傷行為が軽減した一事例」

安本 大樹(金沢こども医療福祉センター)

この度、石川県作業療法学会奨励賞を授与いただき心から感謝申し上げたい。これまで臨床場面の中で発達障害に対する作業療法を模索しながら実践してきた事が、何よりも良かったのではないかとあらためて実感している。私は、日頃から目の前にいる子どもたちが教科書との思いで、彼らから実践のヒントを学ばせてもらう事が多かった。今受賞を機に、今まで以上に臨床力を磨き、またあらためて子どもたちにお礼の言葉を伝えたいと思う。

- 「女性脳卒中患者の1人暮らしの実現に向けた家事動作の評価と支援」

坂本 佳奈(石川県済生会金沢病院)

この度、学会長奨励賞を頂けたことを大変嬉しく思う。今回の発表にあたり指導して下さった、職場の先輩方には心から感謝している。そして何よりも、今回の関わりを通して、患者様が望む生活に向け、作業療法士として何ができるのか、作業療法の評価と支援について深く考える機会を下さった症例様には心から感謝申し上げます。この賞を頂けたことを励みに、今後も日々の関わりを大切にしながら、精進していきたいと思う。

### 初めての学会発表を終えて

広瀬 加奈(金沢脳神経外科病院)

はじめて学会発表を行った。これまでは、自身の分野も含め様々な領域の知識を得る機会として参加してきたが、今回は、自分の臨床実践をまとめ『既往の発達障害による四肢麻痺と知的障害を有し脳出血を発症した事例のADL獲得に向けた作業療法』として発表した。私が発表した内容は排泄動作獲得に難航したが介入方法を変えることで自立に至った症例についてであった。資料作りを始めると流れ、まとめ方、焦点を絞る方法など発表における一から十までわからないことだらけだった。先輩、上司、同期にアドバイスを受けながら形にし、なんとか発表を終えた。発表後、フロアの先生方から助言を頂き、症例を理解してもらうために内容に加えた方が良い点や、症例と関わる上で別の視点があったことを気づくことができた。

今回、発表者として参加し、人に伝えることの難しさを知り、発表を聴く時のポイントが変わった。準備は大変だったが自分の臨床を見直す機会を持つこともできた。今回得られた経験を活かし日々の臨床をよりよいものにしていきたい。





## 石川県災害リハビリテーション支援関連団体協議会の活動について

災害対策委員会委員長 東 ひとみ (石川県リハビリテーションセンター)

石川県災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT石川)は、日本リハビリテーション医学会北陸地方会、石川県理学療法士会、石川県言語聴覚士会、石川県介護支援専門員協会、及び当会の5団体で構成され、平成31年4月1日より活動を開始した。

今年度は研修会を2回開催する。また、災害医療のコーディネーターを各団体に配置できるよう人材養成を支援する。

1回目の研修会(8月25日開催済)は石川県の災害医療体制を知り、発災時に何をすべきかを学ぶ会とした。

2回目は、12月8日(日)、「避難所運営ゲーム:HUG」を用いた演習、実際にJRATで活躍されている今井和哉氏(総合病院国保旭中央病院作業療法士)による講演会を予定している。HUGは、発災後の避難所に被災者を受け入れる。さまざまな状況にある被災者が、不都合を抱えた生活を強いられる。運営では、年齢や性別を考慮した部屋割り、限られた資材を利用した生活空間の確保、生じる問題に

対して改善、解決を図ることを模擬訓練していく。作業療法士として学ぶべきことが多いだろう。能登半島地震から10年以上が経過する中、自分たちが生活する地域で災害がおきた時にできることを学ぶ機会として捉え、多くの会員の参加を期待したい。

当会の災害対策委員会は、今年度の日本作業療法士協会の「大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練」に参加する。同日、当会の訓練に合わせ、JRAT石川(役員)についても連携して実施する。内容は安否確認で、当会では役員の所属施設と災害拠点病院等について実施する。今後、会全体で行えるように体制整備を図って行く。

「自分は大丈夫」、災害時や緊急時のそんな思い込みは「正常性バイアス」といい、危険な脳のはたらきとして知られている。災害医療について知っておくことは無駄ではなく、必要なことと強調し、まずは多くの会員が災害医療に関心を持つことからお願いしたい。

## 認知症施策推進と作業療法士に期待されること

米田 貢(金沢大学)

政府は、今年6月に「認知症施策推進大綱」を示し、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」と認知症の発症や進行を遅らせる「予防」を基本的な考え方に位置づけた。これにより、石川県内の市町においてもこれまで以上の施策推進が図られる。今回は、当会が協力している金沢市の介護保険事業を紹介し、理解を深めたい。

金沢市は、2017年度から、市内地域包括ケアセンターにおいて「認知機能向上教室」を開催しており、当会が作業療法士の派遣協力をしている。この教室は、物忘れ検診受診者に参加を推奨し、計10回の集中型プログラムを2-3か月で実施している。今年度で19か所全てのセンターでの実施に至る。さらに今年からは教室を終了後の受皿として、対象を65歳以上の高齢者に広げ、「いつでもどこでも脳活プログラム(仮称)」を実施予定で、新しいプログラムを当会が監修中である。

大綱における「予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味で用いられている。しかしながら、予防に役立つエビデンスは乏しいことが指摘されている。我々作業療法士も事業に参画するだけでなく、その成果をエビデンスとして収集し、公表していくことが求められる時代となった。また、もう一つの「共生」には、地域の人づくりという社会学の観点が重要となる。現在、金沢市に限らず多くの市町において作業療法士がさまざまな介護保険事業に携わっており、それぞれの地域に応じた「共生」のモデルを提示できれば良いと考える。

日頃の教務の中で、各市町の事業に参画することは非常に大変なことであるが、作業療法士が認知症施策推進に期待されているものと捉え、多くの協力をお願いしたい。

## 各支部支援活動

### 加賀支部

西村 幸盛(片山津温泉・丘の上病院)

7月17日(水)やわたメディカルセンターにて行った第1回MTDLP事例検討会では、22名の参加があった。低酸素脳症による高次脳機能障害を呈した学生に対して復学を目指したアプローチについての報告があり、高次脳機能障害における期間やゴールの設定についてグループ討議が行われた。目標設定に関して、復学と一言でいっても今後の授業にどう対応するのか、進級や進学など長期的かつ具体的な視点で見ていく必要があるとの意見もきかれた。若くして高次脳機能障害を呈したケースについては、周囲の協力や環境、本人の意欲や回復の状況によりゴールや期間の設定が大幅に変わる事があり、柔軟に対応していく事が大事であるとの意見もきかれた。次いでMTDLPを職員教育に活用している施設より実践報告

があった。若手とベテランで効果の認識に差異が生じているなど興味ある結果が報告された。次回は、9月29日(日)に芳珠記念病院にて研修会と第2回症例検討会を予定している。こちらにも積極的な参加を期待する。



### 能登支部

小川正人(恵寿総合病院)

能登地区の作業療法士が“顔の見える”連携が図れ、より多くの県士会員が参加・発表できるように毎回研修会場を変えながら、他支部より多くの事例検討会を予定している。6月13日(木)に、恵寿鳩ヶ丘で行った第1回事例検討会では、昨年より七尾市で開催している多機能型ジムが初参加し、地域資源の活用や医療・介護保険の枠を超えての活動が報告され、知識を深めると共に作業療法士の活躍の場が広がっている事により刺激を受けた。また能登支部初の試みとして、脳梗塞患者の事例を介し、急性期から回復期

の病院スタッフが連携を意識しそれぞれの立場で経過を発表した。互いの病院スタッフからは活発に質疑応答が為され、普段自分たちが行っている連携を互いの立場で確認でき、同じ症例を一緒に語り合うまさに“顔の見える”連携が研修で生まれていた。

10月11日(金)には、開催初となるアイリスで第2回事例検討会を予定している。今後も“顔の見える”連携が生まれる研修となるよう、会員皆様の積極的な参加を期待する。

## 金沢西支部

長原 美穂(石川県リハビリテーションセンター)

5月30日(木)、第1回事例検討会&連絡会を済生会金沢病院にて開催した。参加者は11施設37名であった。連絡会では今年度の事業予定等の説明を、事例検討会では県学会のプレ発表事例を含めて2事例と県リハセンターの事業紹介を行った。6月20日(木)には、第1回MTDLP事例検討会を金沢赤十字病院にて開催した。参加者は9施設21名であった。1例目は家族を含めた積極的なADL・IADLへの支援の結果、介護保険サービスを利用せずに在宅復帰できた事例であった。2例目はファシリテーターの村井氏より事例を提示いただき、認知症患者の生命維持・日課継続へ向けた介入を紹介していただいた。的確な見立てや福祉サービス事業所等関係機関とのネットワークづくりの重要性について学ぶ機会となった。

6月1日(土)の百万石踊り流しには、会員と家族などを含め83名の参加があった。目標の“100人”には及ばなかったが、県士会を十分にアピールできたと思う。9月8日(日)に松ヶ枝福祉館で開催される“福祉のつどい”でも作業療法の魅力のアピールに努めたい。

今後は、9月18日(水)に事例検討会を、10月23日(水)にMTDLP事例検討会を予定している。多数の参加および発表のエントリーを期待したい。



## 金沢東支部

市川 翔悟(河北中央病院)

新たに金沢東支部の副支部長を務めさせていただくこととなった。至らぬ点多々あるかとは思いますが、ひとつひとつのことを大切にしながら、日々努力をしていきたいと思う。今後は支部長と協力をしながら、変化し続ける社会に柔軟に対応していけるよう、作業療法士の社会的な役割を念頭に事業への参加をし、そこで貢献できるようにしていきたい。会員の皆様には、変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げる。

金沢東支部の活動としては、健康づくりフェアへの参加が9月28日(土)・29日(日)に、第2回MTDLP事例検討会が金沢医科大学病院にて9月25日(水)で予定されている。多くの意見交換の場となるようにしていきたいため、会員の皆様には引き続き積極的な参加を期待したい。

連載  
第1回  
情報発信!

## 運転と作業療法に係る委員会

運転と作業療法に係る委員会 委員長 高間 達也(恵寿総合病院)

近年、脳疾患に対する自動車運転の再開には、県の免許センターから医師の診断書が求められるようになり、医師と協同して対応できる作業療法士(以下、OT)の人材育成や啓発を目的として、2016年、日本作業療法士協会に「運転と作業療法特設委員会」が新設された。それを受け県士会においても、2017年に「運転と作業療法に係る委員会」を設置し、研修会や事例検討を開催しているが、これらの取り組みのなかで運転支援におけるOTの役割や、医師との連携、施設での位置づけ等、OTが様々な悩みを持っていることが把握できた。そこで、今年度は自動車運転も含め「外出支援における臨床の悩み」について検討の場、及び

的確な支援を提供するためのネットワークづくりを目的に、勉強会の開催を企画した(10月19日(土)予定:案内ちらしは後日発送予定)。

また、今年度県内で下記のような運転に関する研修会が開催される予定もあるので、各々のOTが積極的に情報収集を行い、臨床現場での支援に役立てていければと思う。

今回を含め、運転支援に関する情報発信、啓発普及を目的に、他県や県内の医療機関の取り組みや、必要な知識について、本ニュースで3回の連載を行う予定である。各回の内容に目を通していただければ幸いである。

○11月9日(土) 石川県リハビリテーションセンター リハ専門職研修

講演1:「自動車運転再開支援の取り組みについて(産業医科大学若松病院 医師 加藤 徳明 氏)」

講演2:「医師の診断書およびその取扱い等々について(石川県警察本部交通部運転免許課 担当者)」

○11月21日(木) リハビリテーション・ケア合同研究会in金沢2019

「高次脳機能障害および認知症患者の自動車運転(東京都リハビリテーション病院 医師 武原 格 氏)」

## 新・指定規則のガイドライン ～臨床実習の時間数について～

種本 美雪(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)

来年度入学生から適応となる新・指定規則については、前号で周知の通りであるが、このガイドラインのうち、今回は、実習時間について取り上げる。

ガイドラインでは、臨床実習の時間数について「1単位を40時間以上の実習とし、実習時間以外に行う学修等がある場合は、その時間も含め45時間以内とする」としている。つまり「実習時間外に行う学修等がある場合には、その時間も含め45時間以内とする」である。言い換えると、1日8時間の臨床実習を行い、実習時間外の家庭学修(ケースノートの作成など)がある場合は、1日1時間行う、という計算となる。これは、昨年10月に厚生労働省医政局より、実習時間については現行の臨床実習も適応される旨が通達されている。但しあくまで基準であり、具体的な臨床実習の進め方等は、臨床実習指導者講習会にてご理

解頂きたい。

実習時間規定の背景には、恒常的な課題が実習生の負担となり、自宅学習が過重になっていたことから、指導者からの課題についても学生の負担が少ない範囲での提示が必要と考える。一方、臨床実習の進め方については、養成校毎に異なることから指導者への負担が大きい。今後は統一した実習のあり方についての検討が望ましいと考える。

石川県作業療法教育協議会では、令和2年2月8日(土)、9日(日)、金沢市内にて臨床実習指導者講習会を開催予定である。経験年数4年以上の臨床実習指導者は早々に受講頂き、臨床実習における学生指導のあり方について学び深めて頂きたい。(開催の詳細については近々にお伝え予定である。)



## ◆◆◆令和元年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第2回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和元年 7月 10日(水) 19時～ 21時30分 西泉事務所
2. 出席：東川、寺田、麦井、大西、村田、明福、渡邊、寺尾、高多、米田、桂、白山、中森、永井、種本、合歓垣  
(理事16名) 堀江、西村、長原、小川(支部長4名) 山本詩、山下(書記2名)
3. 議 事 第1号議案 各部・委員会・各支部事業経過報告
  - 【学術部】第28回石川県作業療法学会及びナイトセミナーの報告。学術雑誌への投稿について報告。次年度石川県作業療法学会の内容について検討。
  - 【教育部】現職者共通研修七の講師について検討。第28回石川県作業療法学会ナイトセミナー参加者への生涯教育制度のポイント付与について上程あり、参加者には付与、講師には付与なしで決定。
  - 【加賀支部】研修会・事例検討会を9月29日に開催。
  - 【金沢西支部】百万石踊り流しで着付け係への日当費支給について報告。県内認定作業療法士への連絡方法について検討を要請、教育部でメーリングリストを作成することを決定。
  - 【金沢東支部】金沢市健康づくりフェア(9月28日・29日)の実施内容は前年度同様となる予定。
  - 【能登支部】能登支部研修会は令和2年2月1日開催に決定。
  - 【病院医療部】9月1日開催予定の現職者研修講師について検討。
  - 【発達障害支援部】発達障害に関わる県内OTにアンケートを依頼予定。
  - 【社会福祉部】災害警報発令時の研修会開催について検討を要請、災害対策支援部にて検討継続。
  - 【在宅支援部 施設事業】10月26日開催予定の研修会講師について検討。
  - 【MTDLP推進委員会】MTDLP事例検討会マニュアル作成が近日中に完成する。今後1年かけて実態把握のためのアンケート調査を実施する。
  - 【認知症対応委員会】金沢市『いつでもどこでも脳活体操』の冊子作成状況について報告。
  - 【地域包括ケアシステム推進委員会】地域会議に資する人材育成の継続とその活用について検討。
  - 【自動車運転の作業療法検討委員会】委員会活動について、今後は県士会ニュース、事業報告定期便などで積極的に啓発を行う。
  - 【災害対策委員会】OT協会大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練の実施について、連絡方法等今後の目標を報告。
  - 【PT・OT・ST連絡会】地域リハ活動支援推進のための人材育成事業について、市町事業に関わるリハ専門職の協力者名簿一覧を同意が得られた人のみ県ホームページなどで提示する。
  - 【企画部】第33回風船バレーボール大会で販売する県士会タオルはクリーム色150本に決定。
  - 【事業部】小学生親子事業等への後援依頼状況について報告。
  - 【広報部】県士会ニュース112号割付について検討。広報誌COTOT4号の内容と表紙について検討。
  - 【表彰選定委員会】第48回医療功労賞(読売新聞社主催)に進藤浩美監事の推薦を決定。
  - 【執行部】8月24日開催予定の石川県リーダー研修会について予定内容を報告。11月30日～12月1日開催予定の東海北陸リーダー研修会(石川県開催)について実行委員会開催予定。
  - 【事務局】金沢健康福祉財団理事の変更について小池氏から安本副会長へ変更予定。『RUN伴石川県2019』の後援を承諾、ただし第33回風船バレーボール大会と開催日が重複しているため広報活動は行わないことで決定。会員向け案内文書発送日を8月発送分より第1週から第3週へ変更。



研修会などスケジュール(9/16 ~ 12/22)

月	火	水	木	金	土	日
9/23	24	25	26	27	28	29
		東支部・MTDLP事例 (金沢医科大学病院)			企画部・風船バレーボール大会 (いしかわ総合スポーツセンター) 東支部・第40回健康づくりフェア(金沢健康プラザ大手町)	加賀支部・研修会&事例検討会 (芳珠記念病院)
9/30	10/1	2	3	4	5	6
					第10回石川県訪問リハビリテーション実務者研修会(石川県リハビリテーションセンター)	教育部・現職者共通研修(金沢赤十字病院)
10/7	8	9	10	11	12	13
			能登支部・事例 (あやめケアセンター)	東支部・いしかわ介護フェスタ (石川県産業展示館)		
10/14	15	16	17	18	19	20
	加賀支部・MTDLP事例 (森田病院)				運輸と作業療法に関わる委員会・障がい者の外出 支援について(金沢福祉用具情報プラザ)	発達障害支援部・在宅医療ケア児の訪問リハビリ テーション(金沢こども医療センター)
10/21	22	23	24	25	26	27
	西支部・MTDLP事例 (なごみ苑)		東支部・事例 (金沢大学病院)		在宅支援部・在宅支援の幅を広げよう! (金沢流通館)	
10/28	29	30	31	11/1	2	3
11/4	5	6	7	8	9	10
			能登支部・MTDLP事例 (羽咋病院)			教育部・現職者共通研修(浅ノ川総合病院)
11/11	12	13	14	15	16	17
					第19回東海北陸作業療法学会(静岡県アクティビティ浜松)	
11/18	19	20	21	22	23	24
			精神医療部・勉強会 (ときわ病院)	健康福祉部・研修会 (石川県リハビリテーションセンター)		地域包括ケアシステム推進委員会・地域ケア会議、 総合事業に関わる人材育成研修会(未定)
11/25	26	27	28	29	30	12/1
					執行部・東海北陸リーダー研修会(金沢大学サテライトプラザ)	発達障害支援部・現職者選択研修・発達障害領域 (金沢こども医療福祉センター)
12/2	3	4	5	6	7	8
						病院医療部・達人OTセミナー (金沢流通会館)
						災害対策・JRAT石川第2回研修会(未定)
12/9	10	11	12	13	14	15
	加賀支部・MTDLP事例 (小松市民病院)				高度・専門医療人材養成支援事業研修会 (金沢大学サテライトプラザ)	
12/16	17	18	19	20	21	22
	ニュース113号発行 COTOT4号発行				MTDLP推進・北陸三県MTDLP事例検討会 (専門学校金沢リハビリテーションアカデミー)	

**KINJO UNIVERSITY**

社会福祉学部  
社会福祉学科  
子ども福祉学科

医療健康学部  
理学療法学科  
作業療法学科

看護学部  
看護学科

大学院  
総合リハビリテーション学研究所  
総合リハビリテーション学専攻(修士課程)

金城大学 医療健康学部 理学療法学科/作業療法学科  
全国でもトップクラスの国家試験合格率と100%の就職率!  
幅広い知識と実践力を持つ医療・福祉のリーダーを養成し、地域の健康を支えています。

金城大学 入試広報部 金城大学ホームページはこちら▶▶▶

☎ 0120-276-150 E-mail: nyushi@kinjo.ac.jp  
TEL: 011-905-1151 FAX: 011-905-4319

金城大学リライフセンター 金城大学リライフセンター

〒924-8511 石川県白山市東田原1200番地 (JR東金沢駅) 〒924-0962 石川県白山市東3丁目250番地 (金城大学リライフセンター)

パーキンソン病専門のリハビリ施設

# 作業療法士募集

専門性をもったリハビリ施設で  
一人ひとりとちゃんと向き合うから  
利用者さんと一緒にやりがいを感じる!

**勤務地**

- **リライフ小坂**  
石川県金沢市小坂町北123-1
- **リライフ白山**  
石川県白山市北安田西  
2丁目17番地

**資格** 作業療法士

**年収** 450万円  
(月給28万+賞与104万円)

**月給** 280,000円

**年間休日** 110日

リライフの働き方を公開中!WEBをチェック!  
<https://sunwels.jp/recruit-relife/ishikawa/>  
より詳しく知りたい方は  
**個別見学会・個別スマホ説明会開催中!**

☎ 0120-905-166 受付時間 10:00~19:00

## 賛助会員名簿 (順不同)

### A会員

社会医療法人財団董仙会  
学校法人 金城学園

### B会員

学校法人センチュリー・カレッジ  
社会福祉法人徳充会青山彩光苑  
特定医療法人社団勝木会  
学校法人阿弥陀寺教育学園  
医療法人社団和宏会

### C会員

粟津神経サナトリウム  
石川県済生会金沢病院  
石川県リハビリテーションセンター  
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院  
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院  
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院  
医療法人社団浅ノ川千木病院  
医療法人社団映寿会  
医療法人社団さくら会森田病院

医療法人社団慈豊会  
医療法人社団丹生会  
医療法人社団生会えんやま健康クリニック  
医療法人社団千木福久会  
医療法人社団扇寿会  
医療法人社団長久会  
医療法人社団同朋会  
医療法人社団中田内科病院  
医療法人社団洋和会  
医療法人社団輪生会  
医療法人積仁会  
金沢医科大学病院  
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院  
金沢赤十字病院  
公立穴水総合病院  
公立宇出津総合病院  
社会福祉法人篤豊会  
公益社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック  
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院  
珠洲市総合病院

芳珠記念病院  
医療法人社団博洋会  
医療法人社団持木会柳田温泉病院  
医療法人社団博友会  
医療法人社団光仁会  
宇野酸素株式会社  
金沢義肢製作所  
株式会社トータルシステム  
株式会社トミクライフケア  
エア・ウオーター・リンク株式会社北陸支店  
株式会社ヤマシタ  
セントラルメディカル株式会社  
三星自動車販売株式会社  
株式会社メディベック  
株式会社サンウェルズ  
医療法人社団橘会 整形外科米澤病院

### D会員

医療法人社団あいずみクリニック  
有限会社さわか金沢  
東洋羽毛北信越販売株式会社

## Web会員手続きQRコード



### QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードから県士会webにアクセスして登録して下さい。  
登録いただいたメールアドレスに研修会の情報などをML配信します。

## 会員数

会員数 845名 認定作業療法士 29名 専門作業療法士 5名



CHECK!

## 新入会員名簿

勤務先	氏名	勤務先	氏名
南ヶ丘病院	竹井 冬弥	みらい病院	河嶋 拓海
みらい病院	米田 千奈都	小規模多機能 憩の家	鈴木 香織
あんじん	田上 いずみ		

## 編集後記

十数年前、私が学生の時は、自分で調べて疑問を解決することが当たり前のように身につけていた気がする。最近では、疑問を解決する力、解決するためにどのような手段・手法を用いるべきか自分なりの引き出しが少ない若者が多いと思う。先生や先輩から言われたことだけをやる、言われるまで自分から動かない、相談なく行動する、勉強方法が分からない等々…。社会に出ると、様々な場面で困難な状況に出会うが、それを乗り越えるために必要な力が足りないと感じる。2012年から2014年にかけて、文部科学省中央教育審議会からアクティブラーニング(能動的な学修)の導入が言われ、現在、当たり前のように幼稚園・こども園から大学まで取り入れられている。しかし、学生は、やらされている感が満載だ。まずは、疑問を持つ！本で調べる！報告・連絡・相談する！教育・臨床現場が、現代の実態を捉え、一緒に教育していく必要があると考えている。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：米田貢、明福真理子、白山武志、酒野直樹、横川菜美、杉浦有子、藤田隆司、川口朋子、寺井利夫、太田哲生、岩田望、網谷郁美、西谷早紀、山梨珠美、南朱音、上野玲子

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社